

信長探訪倶楽部 3月行事 上洛戦 箕作城～観音寺城へ

2月に上洛戦地へ行く予定が鈴鹿越えが必要なため、安全優先で3月に実施することとした。信長が京都に足利義昭を将軍として迎えるため、上洛道にあたる六角氏に道案内を依頼したが、名門を誇る六角義賢はこれを拒絶、戦いとなった。

信長は、観音寺城を攻める前に支城の箕作城、和田山城に攻めかかり、特に箕作城がわずか1日で落城、これに驚き和田山の城兵、続いて観音寺城の六角父子も戦わずに逃亡した。

この箕作城に登ろうとしたが、登城道に猪除けの柵が設けられており、登ることができなかった。他に登る道はあるとの話だが、ここまでで時間を消費、登城を断念した。

急ぎ、観音寺城へ登ろうと、まず安土城の女中が信長の留守中に参拝に訪れ、信長の逆鱗に触れて女中と擁護した寺僧が殺害されたことで有名な桑実寺を訪問した。ここで参拝と休憩をしたのち、頂上にある観音寺城へ向かった。石段に続く石段でへとへとになりながら、空が近くなったなどと思ったらようやく本丸跡に辿り着いた。

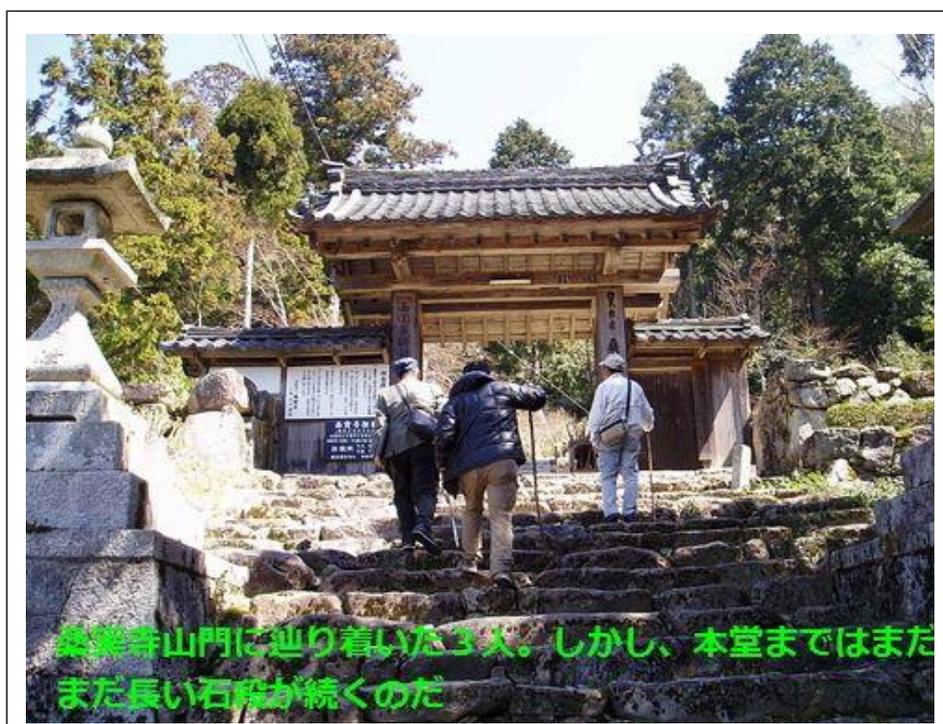
さて、また桑実寺まで戻って休憩をしていると、戻り途中で登って行った歴女らしい女性が早くも降りてきた。「早いですね」との話から、彼女が「日本100名城」巡りをしていることが分かった。これまでに30ヶ所以上の城めぐりをしているなど四方山話をして別れた。速足で降りていく彼女を目で追いながら、我々も重い足をやおら前に出したのだ。しかも我々は杖をついているのだ。ああ・・・

来月は、「朝倉討伐」と題して、朝倉攻め時の金ヶ崎城攻め及び浅井氏離反による金ヶ崎退き陣と朽木越えについて、意見交換と現地確認を行います。楠交流会館（現在、楠公民館）に案内を貼り出します。ご覧ください。





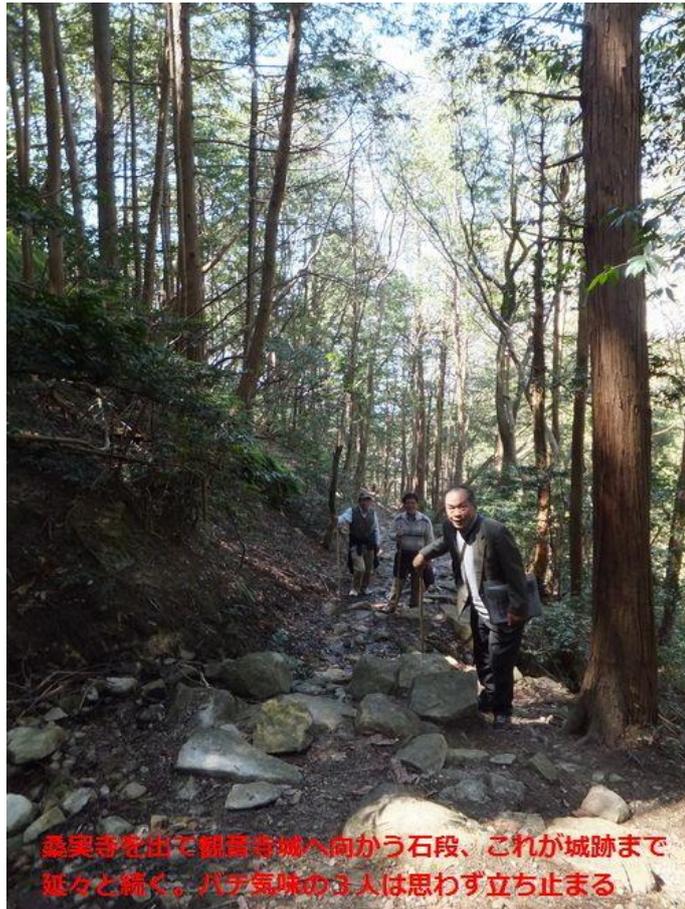
やむなく、次の目的地、観音寺城下の桑葉寺に向かう
3人であった。後に観音寺山（織山）が見える



桑葉寺山門に辿り着いた3人。しかし、本堂まではまだ
まだ長い石段が続くのだ



ようやく本堂に辿り着いた4人組。寺名は開祖定恵が桑の実を栽培、日本で最初に養蚕を始めたことに由来



桑実寺を出て観音寺城へ向かう石段、これが城跡まで延々と続く。バテ気味の3人は思わず立ち止まる





アッ！白いものがある。なんだろうと近付くとなんと雪であった。標高433mの頂上は寒いのだ